

事業所名:みらいずリズム大曲

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	音楽プログラムの活動に合ったスペースの確保となっている。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	児童の人数に応じて、適切に職員人数を配置している。また、活動時間によっては、未就学児を担当する役割を決め、支援している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	玄関は階段とスロープが設置されている。また、事業所内はバリアフリーとなっている。適宜、児童の動線を見ながら、安全な環境構成かを定期的に見直し、再構成を行っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	清掃、消毒を毎日行い、清潔で安全な環境の提供を心がけている。また、月1回、環境整備習慣を設け、事業所内や送迎車の清掃や環境整備を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	日々の療育において、スタッフ間で対象児童の様子や適切な支援の仕方について話し合い、よりよい療育に努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	年1回の保護者当向け評価表をもとに、スタッフで分析をし、意向等を把握、改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	現在外部評価を行っていない為、業務改善に向けて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	社内外の各種研修を受けている。また、社内研修では全職員が学べる時間を確保している。(集合研修、オンライン研修の活用)
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントシートを活用。情報収集をし、どのような支援が必要か検討、計画に盛り込んでいる。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	全事業で同じアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	療育プログラムを踏まえて、一人一人に合わせた支援を領域ごとに考え、支援に向けた計画を考えている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%	0%	0%	個別支援計画を書庫に保管し、職員が閲覧、支援の確認ができるようにしている。また、計画に沿った支援ができるように日々職員間で話し合っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	チーム編成はしていないが、全員で立案し、意見を言い合えるような機会を設けている。

の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	同じ活動でも、毎月、季節や発達を踏まえた内容を検討、教材作成をしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100%	0%	0%	一人一人の特性や苦手とする項目に合わせた援助を行えるように、立案している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	よりよい支援となるよう、療育開始前後に欠かさずミーティングを行っている。また、ミーティングの中で共有された課題に対し、適切な支援方法を職員全体で話し合い、実行している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	職員間で子どもの現状把握をしっかり行い、有効な手立てを考え、実践、振り返り、改善点を実践して行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	ケア記録に記し、継続した支援、一貫した支援が提供できるようにしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	モニタリング、実態把握と併せて、支援計画の見直しを定期的に行っている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者、管理者が参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	0%	0%	保育園等と送迎時に成長や様子を伝え合い情報共有を行うようにしている。また、担当者会議での情報共有の場を設けている。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	子どもたちが安心して進級ができるように園との情報共有をし、情緒の安定を図れるようにしたり、成長を支えられるようにしたりしている。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	0%	小学校との情報共有を必要に応じて行っている。また、就学の際には、学校等と連携し、円滑な移行ができるように協力していく。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	保護者様を介して、医療療育センターからの助言を受け、参考にしている。
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%	交流する機会の検討をしていく。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	マネージャーが参加、都度情報共有してくれている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	連絡帳やライン、送迎時に活動の様子や成長を伝えている。また、家庭や園での様子も聞き、より良い支援に繋げている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	0%	100%	今後実施予定である。	
30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に重要事項説明書で運営規定や利用料金について説明をしている。	

保護者への説明責任等	31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	0%	0%	個別支援計画に児童の支援内容を記載し、保護者より同意を得ている。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	平日児童発達支援利用の保護者とは、直接会う機会が少ないため、ラインなどを活用し、信頼関係の構築に努めるとともに、都度、相談に応じている。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	保護者会はないが、ペアレントトレーニングなど、保護者同士の交流、意見交換できるような場を設け、保護者支援も行っていきたい。
	34	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談や申し入れについては、都度上長や併用先管理者に報告し、迅速対応を心がけている。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	SNSやホームページを通して、活動内容を発信している。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%	0%	0%	書類関係の保管は鍵付きの書庫で保管している。児童が使用するロッカーの名前も来客に見えないように、提示している。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	発達特性に応じて絵カードを使用し、意思疎通が円滑に行えるように配慮している。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%	地域住民や地域の関係機関の方に、みらいずリズムの活動や効果等を発信していき、知ってもらえるように手段を考え、実践していきたい。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100%	0%	0%	緊急時対応マニュアル等を設置し、迅速対応に努めている。避難訓練は令和7年度内に実施予定。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	災害時の経路確認、冬季間における防寒具の持ち出し袋、会社携帯に緊急連絡先を登録している。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	0%	0%	契約時に既往歴やアレルギー、服薬の有無を確認している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	利用時に、保護者にアレルギーの有無の確認をしている。児童発達支援で、おやつ等の提供はないが、イベントなど必要に応じて食事する機会がある際は、医師の指示にしたがって支援していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	100%	0%	事例集はないが、ヒヤリハットが起こった際には、ケア記録に記し、また職員間でも検証、改善策を出し、再発防止に努めている。記録の残し方について再検討していく。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止委員会を定期的実施し、他職員も事業所内研修を受けるようにしている。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	100%	0%	0%	契約時に保護者に説明をしている。また、職員間で活動中における児童の行動想定を検討し、児童が安全に活動できるようにしている。